

## 「野鳥園臨港緑地干潟・湿地環境保全事業」平成 26 年度事業計画書

### 1 事業実施スケジュール

実施事業	平成 26 年		平成 27 年		
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
(1)干潟・湿地の保全					
(環境調査)					
①鳥類調査	—	2 回	2 回	2 回	2 回
②底生生物調査	—	—	—	—	1 回
③干潟現況調査	—	—	—	—	1 回
(干潟・湿地の清掃及び除草)					
①漂着ごみの回収と除去作業	1 回	—	—	—	—
②ヨシ刈り等除草	随時	随時	随時	随時	随時
(2)環境学習					
①野鳥の観察指導（野鳥ガイド）	2 回	2 回	4 回	4 回	4 回
②環境学習会	←-----	-----	-----	-----	----->
(3)催事	←-----	-----	-----	-----	----->
(4)広報、啓発等	←-----	-----	-----	-----	----->
(5)事業実施に向けての準備活動	←-----	-----	-----	-----	----->

### 2 事業実施計画

#### (1) 干潟・湿地の保全

##### 【 環境調査 】

##### ① 鳥類調査

(実施時期) 12 月～3 月 (月 2 回)

(調査方法) 展望塔と観察所を拠点に 1 日を通しての個体数の変化(種別最大渡来数の記録)、干潟・湿地の利用状況、採食行動などを調査シートに記録する。

(調査要員) 2 名

(その他) 大阪府一斉ガンカモ調査(1 月中旬)、環境省調査(モニタリングサイト 1000)への情報提供

##### ② 底生生物調査

(実施時期) 3 月 (1 回)

(調査方法) 底生生物の生息分布状況とその環境変化を図面上に記録する。

(調査要員) 2 名

##### ③ 干潟現況調査

(実施時期) 3 月 (1 回)

(調査方法) 鳥類調査、底生生物の調査と並行して実施する。鳥類調査時には満潮時、干潮時の様子を写真で捉え図面に記録するとともに底生生物調査時には底質、水流などを記録し、干潟・湿地の環境を分析する。

(調査要員) 2 名

## 【 干潟・湿地の清掃及び除草 】

### ① 漂着ゴミの回収と除去作業

(実施時期) 11月

(実施方法) 干潟・湿地への漂着ゴミ等の状況と野鳥への影響が少ない時期をみて、行政や市民との協働でゴミ除去作業を実施する。

(実施要員) 3名

CSRを活用(ボランティア約100人)

### ② ヨシ刈り等除草

(実施時期) 随時

(実施方法) 展望塔から野鳥を観察しやすいよう、シギ・チドリ類の飛来状況、干潟・湿地の生きものの生息環境に配慮しながらヨシ刈りを実施する。

(実施要員) 2名

## (2) 環境学習

### ① 野鳥の観察指導(野鳥ガイド)

(実施時期) 12月～3月の日曜(10時～15時)を基本に実施。

(但し、潮の状況により変更することもある。)

(実施方法) 望遠鏡等の観察器具を使用して、越冬する野鳥(カモ類、シロチドリ、オオジュリンなど)や猛禽類(チュウヒ、オオタカ、ハイタカなど)の観察方法や野鳥の説明を実施する。

(実施要員) 2名

### ② 環境学習会及び探鳥会

#### ア 探鳥会の実施

(実施内容) 日本野鳥の会大阪支部の定例探鳥会と連携して野鳥園で探鳥会を実施する。

(実施時期) 毎月第4日曜日

(実施要員) 2名(日本野鳥の会大阪支部会員)

#### イ 野鳥の観察会の実施

(実施内容) (公社)大阪自然環境保全協会の観察会(随時実施)と連携して野鳥園で観察会を実施する。

(実施時期) 未定

(実施要員) 2名(大阪自然環境保全協会会委員)

#### ウ 鳥類学講座の実施(テーマ:キジバトの生態)

(実施内容) 日本野鳥の会大阪支部、日本野鳥の会ひょうご、NPO法人日本バードレスキュー協会と共催し、市民も参加可能な鳥類学講座を実施する。

(実施時期) 3月(予定)

(実施要員) 2名(共催団体と連携)

#### エ 野鳥ガイド講習会の実施

(実施内容) 野鳥ガイド養成と指導技術向上のための講習会を実施する。

(実施時期) 3月(予定)

(実施要員) 2名

#### オ 冬の夜のカモ類観察会の実施

(実施内容) 日没後に展望塔から、園内の池に帰ってくるカモ類の観察を行うと同時に、冬の星座の観察会を、日本野鳥の会大阪支部との共催で実施する。

(実施時期) 1月(予定)

(実施要員) 4名(日本野鳥の会大阪支部と連携)

### (3) 催事等の事業

- ・ 野鳥園内での収益性のある催事の実現に向けた利用者ニーズを把握するための利用者アンケートの実施に向け、手法や内容について検討する。

### (4) 広報、啓発等

#### ① 野鳥園のホームページの更新

- ・ 最新の野鳥飛来状況
- ・ 市民が参加できる観察指導日や観察会の開催日の周知
- ・ 野鳥園の環境保全のための作業日の周知や活動報告

#### ② 観察会等の情報提供

- ・ 市民が参加できる観察指導日や観察会の開催日について、より広く周知できるように「区政だより」や地元口コミ紙に情報提供する。

#### ③ SNSの活用

- ・ より多くの人々が野鳥園に興味を持てるよう、野鳥園臨港緑地のfacebookページを立上げ、様々な人がリアルタイムで野鳥の飛来情報や野鳥園での活動状況などを閲覧、発信できるようにする。

#### ④ 展望塔内の展示スペースの活用

- ・ シギ・チドリ類などの野鳥やフライウェイパートナーシップ、野鳥園の干潟・湿地の環境などについて学習できるよう説明ポスターなどの作成、掲示。
- ・ 市民等が撮影した野鳥写真の掲示。

### (5) 実施に向けての準備活動

- ・ 学校の環境教育の一翼を担うため、市内小・中学校等の教員を対象に、野鳥園を活用した環境学習会や施設見学会の実現に向けた情報収集の実施。
- ・ カメラメーカーやレンズメーカー、アウトドアメーカーなどの企業と連携した催事の開催に向け、情報収集の実施。

### 3 事業実施体制

#### (1) 要員配置

本事業を実施するにあたり、事業責任者 1 名、現場責任者 1 名を配置し、各事業実施には次のとおり要員を配置する。

要員配置にあたっては、関係団体等と連携し要員確保のうえ配置する。

事業責任者 1 名		
現場責任者 1 名		
実施事業	実施要員	備 考
(環境調査)		
①鳥類調査	2 名	
②底生生物調査	2 名	
③干潟現況調査	2 名	
(干潟・湿地の清掃及び除草)		
①漂着ごみの回収と除去作業	3 名	CSR を活用 (ボランティア約 100 人)
②ヨシ刈り等除草	2 名	
(環境学習)		
①野鳥の観察指導 (野鳥ガイド)	2 名	
②環境学習会及び探鳥会	4 名	日本野鳥の会大阪支部等他団体と 連携
(その他催事)	適宜	
(広報、啓発等)	適宜	
(事業実施に向けての準備活動)	4 名	行政と連携

#### (2) 関係団体等

- ・ 日本野鳥の会大阪支部
- ・ 日本野鳥の会ひょうご
- ・ NPO 法人日本バードレスキュー協会
- ・ (公社)大阪自然環境保全協会
- ・ 行政 (大阪市港湾局、住之江区役所)